



令和6年度 教育調査～「アンケートの結果」と「学校の取り組み」

副校長 高橋 美恵子

保護者の皆様には、教育調査のアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。アンケート結果を真摯に受け止め、今後の教育活動にどのように生かすのかを考えていきます。

<学びと成長>

本校では1年間を通して「児童が主体的に学ぶ授業づくり」を目指してきました。全教員が校内研究で、この目標に取り組み、教員自ら主体的に学び合っています。学校では、集団で学ぶからこそ生まれる気付きや考え方が身に付くようにしています。外部団体と連携の授業には、学校支援本部がすすめている貴重な体験活動が数多くあります。

<ICTの活用>

学年や児童の実態に応じて、タブレット端末を使用した授業を行っています。学年が上がるにつれ、自分の考えを表現したり友達と考えを共有したりするツールとして活用できています。一方でタブレット端末の取り扱いにより修理の台数が増えていること、学習内容以外の使用をしていること等、課題もあります。今後も「情報モラルの時間」を全校で定期的に取り組みと同時に、保護者向けに「ICT通信」を発行することで、ICTの有効活用がすすむようにしていきます。

<学校安全>

特にいじめについては、2学期の保護者会で本校の「いじめ防止基本方針」を説明しました。生活指導部による校内研修、ふれあい月間でのアンケート調査と聞き取り、道徳の授業、各クラスの状況や対策について生活指導夕会で報告し全教員が共有しています。状況に応じて「いじめ対策委員会」を発足し、組織で対応しています。来年度も引き続き、全校体制で未然防止・早期発見に力を注いでいきます。

<学習評価>

年3回の通知表で学びの評価をお知らせしています。また夏季休業中の個人面談で、学校生活の様子をお伝えしています。今後は、より子どもの成長につながるような「保護者との対話する機会」を検討していきます。日常の学びについては、「毎日が学校公開」を活用していただき、いつでもお子さんの様子をご覧ください。

<ICTシステム>

今年度から tetoru による欠席連絡とお便りの配信をしました。他の学年の様子も知りたいという要望に応え、全学年の「学年だより」は全校配信しました。そのため配信数が多くなっています。対象学年が分かるように、タイトルに【学年】を入れるようにしました。子ども自身が読んだ方がよいお知らせについては、従来通り印刷物を配布することが必要だと捉えています。

<社会的つながりの場>

本校の学校運営協議会は、学識経験者（元校長・弁護士・大学教授）、地域協力者、保護者、学校支援本部、親児の会の方で構成されています。学校の教育活動を実際に参観し、子どもたちの様子を見て、現状について話し合っています。議事録は、毎月の学校だよりに掲載しています。今後も学校支援本部や PTA 本部役員、親児の会、民生児童委員、学童・児童館職員と健全育成について話し合う場をつくり、協議したことが子どもたちの学校生活に反映できるように、取り組んでまいります。

<教育相談>

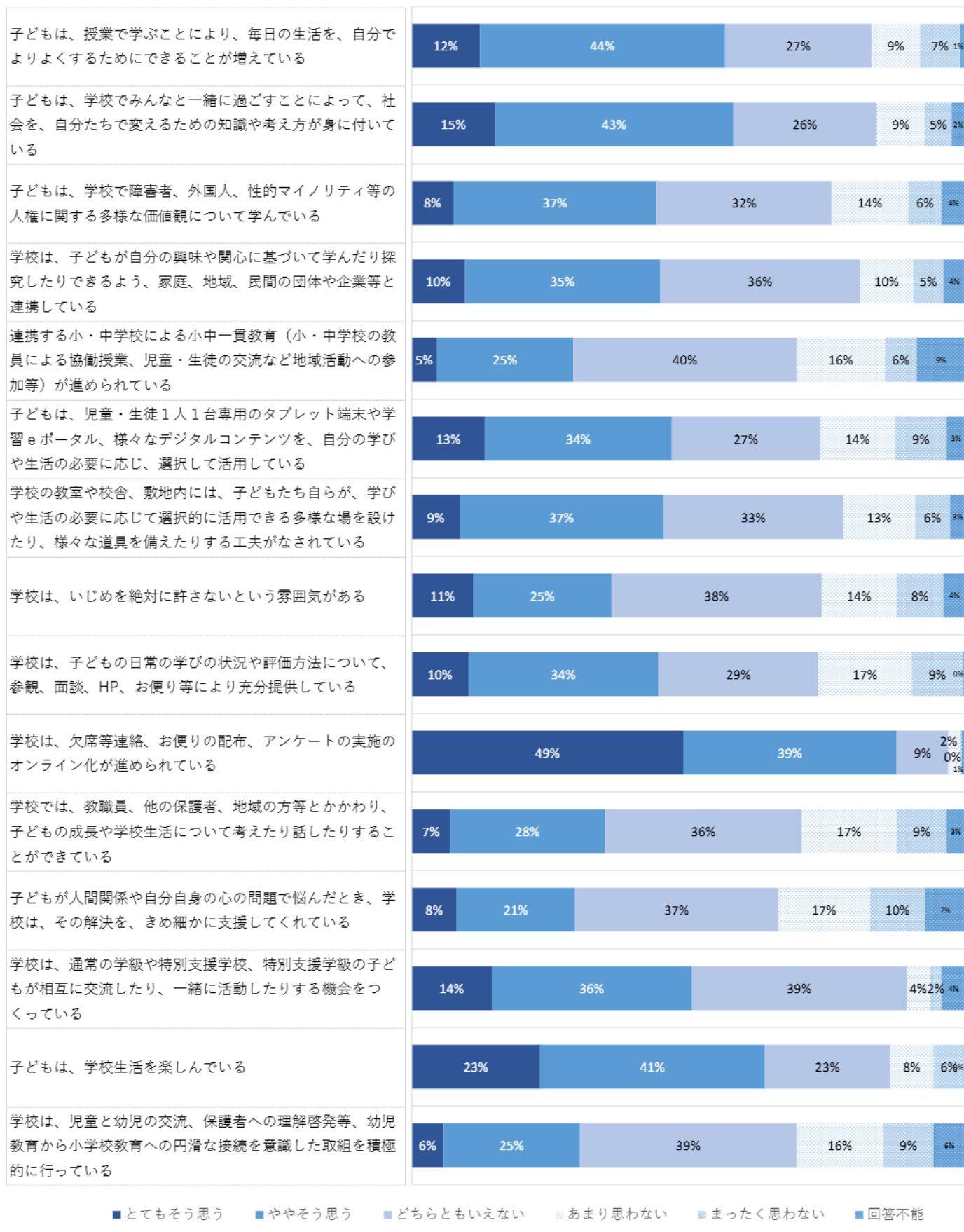
教育相談コーディネーターを配置し、人間関係や自分自身のことで悩んでいる子どもたちに対して、支援する人の配置や過ごす場所を調整しています。支援員、スクールカウンセラー、元教員の地域協力者、白百合女子大学の心理を専攻する学生・院生が、支援にあたっています。子ども家庭支援センターやスクールソーシャルワーカーとも連携し、子どもたちだけでなく保護者の困り感に寄り添えるような対応をすすめています。教育委員会とも連携し、よりよい対応につながるようにしていきます。

<交流及び共同学習>

通常学級と久我山学級との主な交流は、4月に交流学級との顔合わせ、様々な行事、毎月行われる縦割り班活動・委員会・クラブ活動などです。交流を行うことで、子ども同士が互いを身近な存在に感じることを目指しています。特に1年生と3年生では、「久我山学級の理解を深めるための授業」と「遊びを通しての交流会」を行っています。子どもたちの実態や活動内容に合わせて、今後もさらに交流が深まるようにしていきます。

調査の結果を通して、本校の教育活動は「何を目指しているのか」を具体的に分かるように説明することが必要だと改めて考えました。さらに子どもと保護者と学校の対話をすすめ、「学校だからできること・やるべきこと」が、子どもたちの成長につながるように、次年度の教育活動を検討していきます。

教育調査（保護者）



令和6年度 学校評価（自己評価）

本校では、毎年この時期に、教職員が1年間の取組を振り返って成果と課題を出し、来年度の方針を決める「自己評価」を行っています。今年度の反省と、来年度の方針について、一部抜粋してお伝えします。

項目	項目	反省点・改善策の把握	令和7年度の方針
		◎成果 ■課題・改善案	
	学校経営方針	【学校が「地域・保護者とともに子どもを育てる場」であるという方針について】 ◎地域との連携が進み、児童の育成を学校・地域・保護者で行う意識が高まった。 ■その経緯や意図の理解を進めるために、学校内外ともに発信し続けたり、コミュニケーションをとったりする必要がある。	・「毎日授業公開」を継続していく。 ・一年間の指導内容を年度初めに、保護者に発信する。どのような学習をしていくかを、見通しをもって参観できるようにする。 ・HPの活用については課題がある。よりよいものになるように検討を行う。
	重点目標	【教科担任制について】 ◎学年全体で指導・評価を行うことができる。授業準備に時間をかけ、よりよい授業作りを目指す。 ■授業で起きた出来事を担任に伝えるための時間が必要。連携を図ることの重要性を感じた。	・教科担任制は、教員の配置や業務内容による授業時間数に関わることなので、大きな方針を確認。 ・段階的に教科担任制になるようにする。1、2年で道徳などの交換授業、3年で教室を移動した専科授業、4年は後半から担任全員が関われる授業にしていく。
	生活指導	■本校は門が2つ（赤門・青門）あるにも関わらず、警備が一人配置になり、安全管理が難しい。	・令和6年度3学期中に、赤門のみの開門として試用期間を設ける。通学路の変更、交通安全上の配慮などを試してみて、赤門のみの開門を目指す。
	ICT	■児童の使い方について、ルールを守れていない児童がいる。具体的には「学習のために使えていない、時間を守れていない、雑な扱いをしている」という様子。	・令和6年度から朝の時間に、情報モラルの時間を設定して月に1回使い方の指導を行っている。継続して指導する。 ・雑な扱いについては、修理件数が多い状況なので、必要に応じて家庭との連携を図る。
地域関係機関	学校支援本部	◎学習サポーター、読み聞かせ、授業でたくさんの支援していただき、本当にありがたい。 ■朝遊びや放課後遊びの見守りをお願いできないか。	・地域、保護者、PTAの行事・授業支援をより継続的に行うことができるように、一度情報を整理する。支援内容の見直しを行い、令和7年度に生かす。
	幼保小連携	◎展覧会で幼稚園・保育園を招待して、5年が案内した。来年度の1・6年なので、交流ができてよかった。	・展覧会での交流は継続する。 ・地域連携として、総合の学習としても、幼稚園・保育園に訪問したり、別の機会に交流の機会を設定したりできないか検討する。
保護者との連携	あゆみ・面談	■学期末のあゆみによって伝わる内容が、学校で大切にしている学習や活動の様子を伝える内容になっているか、考える必要がある。あゆみだけでなく、個人面談も含めて学校での様子をどのように伝えるか検討したい。	・個人面談の実施回数や時間を増やし、家庭との連携を今まで以上に行うことができるようにする。あゆみの所見で伝える回数は、2・3学期とする。
	情報交換	◎保護者会の内容としていじめ防止対策の話を取り上げた。学校での取組を伝えることができてよかった。	・いじめ防止対策については、年間を通して伝える必要がある。年間計画に入れて継続して伝える。

令和6年度 第7回学校運営協議会の概要

1. 日時 令和7年1月18日(土) 13:00～14:00
2. 場所 校長室
3. 出席者 学校運営協議会委員()、校長、副校長
(事務局)

4. 議題

- (1) 会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 協議

「令和6年度自己評価について」 主幹教諭より

- ・校内での話し合いの流れについて報告
- ・主に議論になった議題についての説明

学級編成替え、あゆみ・個人面談、総合的な学習の時間、児童用タブレットの使用について、体育学習発表会 等)

●教科担任制

- ）区内の小学校を見ていると、5・6年生を中心に行っている。
- ）中学年は、認めてもらえる担任の存在が大切な時期。

校長) 1～3年生では、道德の交換授業などから行う計画でいる。東京都では、4年生から教科担任の話があり、本校でも4年生から少しずつ実施していく。
今年度の実施状況から、保護者への面談も学年で行ったり、一人の児童をいろいろな教員で指導したりできた。

●あゆみ所見、個人面談

- ）あゆみの所見で何を伝えるのか、どのように文章に表現するのが大切である。中学校では、1学期の所見をなくし、面談で伝えるようにしている。
- ）所見の代わりに面談の回数や時間が増えたときの負担感は大きくないのか。
- ）どのような面談をするのか、教員の準備や研修を行う予定である。

校長) 家庭、保護者との対話の機会を増やしていきたいと考えている。

●体育学習発表会

校長) 保護者、児童から様々な意見が寄せられている。今も継続中。

児童に対しては、要望すれば「やってもらえる」という意識でなく、そのために「自分たちでどのようなことができるか」と投げかけ、考えるようにしている。

- ）今の児童には「競い合うこと」の難しさを感じるが、その背景には児童だけでなく様々な要素があると思う。

その他、多くの意見のあった「学級編成替え」「総合的な学習の時間(プロジェクト活動)」
「児童用タブレットの使用について」の説明をしました。

- (4) 副校長より

5. 次回の学校運営協議会

第8回 令和7年2月22日(土) 13:00～14:00

～2月の行事予定～

日	曜	行事等	授業時数						校庭 開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	土								
2	日								C
3	月	委員会活動(2月) SC	5	5	5	5	6	6	
4	火	安全指導 ダブルダッチ教室④⑤	5	5	6	6	6	6	
5	水	4時間授業 馬頭琴コンサート②	4	4	4	4	4	4	A
6	木	スマイルキャラバン[久]	5	5	6	6	6	6	
7	金	5時間授業 SC	5	5	5	5	5	5	
8	土								
9	日								C
10	月		5	5	5	5	6	6	
11	火	建国記念の日							
12	水	小中一貫の日 4時間授業	4	4	4	4	4	4	A
13	木	SC	5	5	6	6	6	6	
14	金	読み聞かせ①②③④久 SC	5	5	5	6	6	6	
15	土								
16	日								C
17	月	クラブ活動 保青園交流②	5	5	5	6	6	6	
18	火	たてわり活動(黄・緑)	5	5	6	6	6	6	
19	水	4時間授業 ユニセフ 募金	4	4	4	4	4	4	A
20	木	幼稚園交流① SC	5	5	6	6	6	6	
21	金	たてわり活動(赤・青) 小中交流会[久]	5	5	5	6	6	6	
22	土	土曜授業 キャリア教育⑤	3	3	3	3	3	3	
23	日	天皇誕生日							C
24	月	振替休日							
25	火	送る会会場準備⑤ 体育館貸し出し禁止	5	5	6	6	6	6	
26	水		4	5	5	5	5	5	
27	木	6年生を送る会 ひな壇片付け⑤	5	5	6	6	6	6	
28	金	社会科見学⑤ SC	5	5	5	6	6	6	

※3学期の避難訓練は、予告なしで行います。

～3月の行事予定～

日	曜	行事等	授業時数						校庭 開放
			①	②	③	④	⑤	⑥	
1	土								
2	日								C
3	月	委員会活動(3月)	5	5	5	5	6	6	
4	火	安全指導 保護者会①②	5	5	6	6	6	6	
5	水	SC	4	5	5	5	5	5	B
6	木	保護者会②③(久) 卒業進級を祝う会[久] SC	5	5	5	5	6	6	
7	金	保護者会⑤⑥	5	5	5	6	5	5	
8	土								
9	日								C
10	月		5	5	5	5	6	6	
11	火	卒業記念給食⑤	5	5	6	6	6	6	

○の数字は学年、(久)は久我山学級を表します。

水曜日は原則、毎週特別時程です。

P.T.A・地域行事等は斜体で表します。

S.C・・・スクールカウンセラー来校日です。

※教育相談室直通電話 03(3247)0226

校庭開放について

水曜特別時程 4時間・・・13:30～17:00 (A)

水曜特別時程5時間・・・14:40～17:00 (B)

日曜日・祝日・・・13:00～17:00 (C)

<2月22日 土曜授業について>

6年生の「総合的な学習の時間」の学習で、2月からキャリア教育「働くことについて考えよう」をすすめます。学習の中で2月22日(土)に、ゲストティーチャーをお招きして、「仕事に就くまでの話」「仕事の楽しさ・やりがい」「働くことの意味・働くことで得られる喜び」「苦労したこと」「困難を乗り越えたこと」を中心にお話いただきます。例年、卒業を目前にした6年生にとって、貴重な機会となり、働くことについて考える良い機会となっています。

今年度は、ゲストティーチャーとして、実際にお仕事をされている12名の保護者の方にご協力いただきます。引き受けてくださった皆様、ありがとうございます。

22日(土)当日のゲストティーチャーの皆様のお話は、どなたでもご参観いただけますので、ぜひご参観ください。

<3月保護者会のお知らせ>

本年度最後の保護者会になります。ぜひご参加ください。

■日程

3月4日(火) 1・2年

3月6日(木) 3・4年 久我山学級

3月7日(金) 5・6年

■内容

3学期の様子 春休みの生活